

みんなの掲示板

サークル・団体の会員募集や講座の案内、地域の出来事などを投稿してください。ここは、読者の皆さんからの記事で作られるページです。
 広報紙への意見・感想やイラストなども募集しています。
 ●問い合わせ 役場広報係 ☎201-4321



稽古後に真剣に泥遊びをしました

6月1日、田植え前の水田をお借りして、泥遊びをしました。水も、冷たすぎず、熱すぎずの中、汚れを気にせず、ラグビー風ポートボールなどで、「泥」を楽しみました。
 ●猪熊剣道スポーツ少年団

みずまき男女共同参画地域づくりセンター「みんなのおうち」3周年



伊左座にある「みんなのおうち」が開所して3周年を迎えました。地域に親しまれながら歩んでこられたことを記念して、6月8日に講演会とコンサート、交流会を開催しました。
 ●いっしょにやろう会

フラダンス同好会 カリコブア・アラレア

フラダンスを通して、健康増進と仲間づくりをしていて、一緒に活動する女性を募集しています。見学、体験も随時受付しています。
 ●とき 第1・2・3月曜日 午後7時～8時30分
 ●ところ 中央公民館
 ●費用 月額3,000円
 ●問い合わせ カリコブア・アラレア(津留) ☎(090) 9791局1339番

一緒に断酒しませんか 断酒友の会 会員募集

「断酒」という共通の目標を持った人たちが、体験や気持ちを語り合うことで、お互いに支えあい励ましあつて断酒を続けていきます。現在、7人で活動しています。
 ●とき 第2土曜日、第4火曜日 午後7時
 ●ところ 中央公民館
 ●問い合わせ 遠賀断酒友の会(尾崎) ☎(090) 2392局9049番

1人で悩まないで！ 妊娠SOSホットライン

思いがけない妊娠や出産費用で悩んでいる人の相談に応じます。
 ●とき 7月13日(土)～17日(水)までの午前10時～午後4時
 ●相談電話番号 (0120) 947局792番
 ●問い合わせ NPO法人円ブリ

北九州いのちの電話 電話相談員募集

「北九州いのちの電話」のボランティア相談員は、さまざまな悩みや不安に直面している人に、電話を通して支援を行っています。
 ●対象 養成講座に参加して認定を受け、相談員として活動ができる20歳～68歳の人
 ※養成講座は、約6か月間の講座(週1回程度)と約1年間の実習(18回以上)を行います。
 ●費用 3万円
 ●申込期限 9月21日(土)
 ●問い合わせ 北九州いのちの電話 ☎652局6628番



社会人ソフトボール選手権大会(敬称略)
 ●5月26日●総合運動公園グラウンド●参加者70人
 ①立屋敷②二公民館③高尾

水巻町グラウンドゴルフ選手権大会(敬称略)
 ●5月31日●総合運動公園グラウンド●参加者58人
 【男子の部】①大垣久雄②石井八郎③坂根福治

遠賀ロータリークラブ旗争奪少年剣道大会(敬称略)
 ●6月9日●町民体育館●参加者149人
 【個人戦】●小学1・2年生の部①木谷祐道●小学4年生の部①白石晃●小学6年生の部①西門歩琉②尾池心勇人③西門玲邑●中学生女子の部③白石香里奈
 【団体戦】●小学生の部①机剣道スポーツ少年団A

こんにちはは保健師です

胃がんを早期発見

胃内視鏡検診

町のがん死因別統計では、1位気管支及び肺がん、2位胃がん、3位大腸がんとなっています。2位の「胃がん」は男性に多く、50歳ごろから増える傾向があり、初期には自覚症状がほとんどないため、発見が遅れがちです。医療技術の進歩により早期であれば完治する可能性が高く、「早期発見」が大切です。

胃がん検診の定期受診で死亡リスク大幅減

国が自治体で行う胃がん検診として推奨しているのは、胃エックス線検査と胃内視鏡検査の2種類です。国立がん研究センターの発表によると、少なくとも3年に1回、胃内視鏡検診を受診することで胃がん死亡リスクは30%減少することが明らかになっています。町の胃がん検診は、胃エックス線検査は40歳以上、胃内視鏡検査は50歳以上から受診することができ

ます。胃がんの5年生存率は症状が出て病院受診した場合は60～70%であるのに対して、検診を受けて治療した場合は約80%以上と言われています。胃内視鏡で切除できるような早期の小さながんであれば

ほぼ100%です。早期に発見できれば胃を切除しなくても内視鏡でがん細胞を切り取る治療で済むこともあるのです。早期に発見し、治療することで、体の負担が減り、治療後の生活への影響も少なくなります。町では胃内視鏡検診を平成29年度から実施しており、平成30年度までの2年間で338人が受診し、うち4人(1%強)が胃がんと診断されています。

胃内視鏡検査は麻酔を行い10分～15分

検査当日は基本的に飲食禁止です。麻酔を行い、経口の場合はマウスピースをくわえて内視鏡を挿入します。所要時間は医療機関によって異なりますが、経口であれば10分、経鼻であれば15分です。

胃エックス線検査と胃内視鏡検査の違い

両方の検査ともに胃がん死亡を下げる効果があります。胃エックス線検査は造影剤(バリウム)を胃粘膜に付着させて撮影し、粘膜の凹凸と形状から診断する方法です。胃内視鏡検査は細長い管を口または鼻から挿入し、直接胃の粘膜を観察する方法で、初期の胃がんを発見することができます。

町の胃内視鏡検診

6月1日より、指定医療機関で検診を開始しています。

- 対象者 以下の条件をすべて満たす人
 - ①令和2年3月31日時点で50歳以上
 - ②平成30年度に町の胃がん(胃内視鏡)検診を受診していない
 - ③令和元年度に町の胃がん検診を受診していない
 - ④胃の症状(胃痛、吐き気、胸やけ、もたれなど)がない
 ※胃の症状がある場合はできる限り早期に病院受診してください。
- ⑤胃の治療中ではない。胃がんの手術をした人は手術後5年以上経過している
- 検診期間 6月1日～令和2年2月29日
- 費用 3,000円(生活保護を受けている人は無料)
- 受診できる医療機関 町内および町外の指定医療機関
 ※申込者へ一覧表を送ります。
- 申込方法 いきいきほーる健康課へ電話で申し込み、検診票などが届いてから医療機関に直接予約
- 留意事項 今年度、町の胃がん検診で胃内視鏡検査を受けた人は、来年度の胃がん検診は胃エックス線検査、胃内視鏡検査ともに受診できませんのでご注意ください。

●問い合わせ いきいきほーる健康課 ☎202局3212番

欠点	利点	方法
出血や穿孔の危険がある	エックス線検査と比較し、早期胃がんが発見できる	内視鏡を口または鼻から入れ、胃を直接観察する
発泡剤やバリウムでアレルギー症状が出る可能性や便秘になる可能性がある	胃全体の形を見ることのできる 内視鏡検査に比べ体への負担が小さい	胃を膨らませる薬と造影剤を飲んでエックス線撮影を行い、胃の形や粘膜の状態を調べる